Autonomous APでのSSIDの設定

内容

 ばじめに
 前提条件
 変件
 使用するコンボーネント

 貫景説明

 設定

 丸ワッチ側からの設定
 方法1:GUIを使用したAPでのSSIDの設定
 方法2:CLIを使用してAPにSSIDを設定する

 確認

 関連情報

はじめに

このドキュメントでは、Cisco IOS®で単一のVLANを使用してService Set Identifier(SSID)を設定 するプロセスについて説明します。

を参照。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるもの ではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

背景説明

SSID は、ワイヤレス ネットワーク デバイスでワイヤレス接続を確立して維持するために使用される固有識別情報です。AP 無線は無効で、デフォルトの SSID は割り当てられていません。これ

は、不正ユーザがデフォルトのSSIDを持ち、セキュリティ設定のないアクセスポイントを介して ユーザのワイヤレスネットワークにアクセスすることを防ぐために行われます。アクセス ポイン トの無線インターフェイスを有効にする前に、SSID を作成する必要があります。

ネットワークまたはサブネットワーク上の複数のアクセス ポイントは、同じ SSID を使用できま す。SSID は大文字と小文字を区別する最大 32 文字の英数字です。SSID にスペースを含めるこ とはできません。

最初の文字に以下の文字は指定できません。

- 感嘆符(!)
- ポンド記号(#)
- セミコロン(;)

次の文字も無効で SSID には使用できません。

- プラス記号(+)
- 閉じ大カッコ(])
- スラッシュ(/)
- 引用符(")
- Tab
- 不規則なスペース

Cisco Aironet アクセス ポイントには、最大 16 の SSID を設定でき、各 SSID に異なる設定を割 り当てることができます。デュアル無線のワイヤレス デバイスでは、作成した SSID が両方の無 線インターフェイスで有効になります。 クライアント デバイスは、アクティブな SSID のいずれ かを使用してアクセス ポイントに関連付けることができます。

設定

スイッチ側からの設定

en conf t int Gig 1/1 switchport mode trunk switchport trunk encapsulation dot1q switchport trunk native vlan 50 switchport trunk allowed vlan 1,50

方法1:GUIを使用したAPでのSSIDの設定

1. SSID 用の VLAN を作成します。



2. SSID を作成し、VLAN を割り当てます。

Cisco IOS Series AP	+	
€ € 192.168.50.2	🟫 🐨 😋 🗽 🖉 🖓 🛃 🖉	+ 🕆
AVG - Search	🔍 Search 🦁 Safe 🕘 Do Not Track 📷 - 🖬 Facebook 🥒 Performance	
սիսիս cisco	Sage Configuration Bing Logou Home Network Association wireless <mark>security</mark> services sofftware event Log	it <u>R</u> efresh
Security Admin Access Encryption Manager	Hostname ap ap uptime is 1 hour, 32 mi Security: Global SSID Manager	nutes
SSID Manager Server Manager	SSID Properties Current SSID List	
AP Authentication Intrusion Detection Local RADIUS Server Advance Security	< <tr> SSID: Cisco VLAN: 50 ▼ Define VLANs</tr>	
	Backup 2: Backup 3:	
Interface: Radio0-802.11N ^{2.4GHz}		
	Network ID: (0-4096)	
	Delete	

3. SSID をブロードキャストします。



方法2:CLIを使用してAPにSSIDを設定する

1. SSID を設定し、VLAN にマッピングします。

Enable

Conf ter

Dot11 ssid Cisco

Vlan 50

Authentication open

Guest-mode

End

2. DOT11 無線 0 とギガビット イーサネット インターフェイスを設定します。

>Conf t interface Dot11Radio O ssid Cisco Exit
Interface Dot11Radio 0.50 Encapsulation dot1Q 50 native Bridge-group 1 Exit
Interface GigabitEthernet O Bridge-group 1
Interface GigabitEthernet 0.50 Encapsulation dot1Q 50 native Bridge-group 1

◇ 注:ネイティブVLANは常にブリッジグループ1にマッピングされる必要があります。 無線がどちらもアクティブである場合、無線0のように無線1を設定します。

確認

このセクションでは、設定が正常に動作していることを確認します。

- APからスイッチのVLANインターフェイスにpingを実行します。
- APで show dot11 associations、コマンドを入力します。SSID に関連付けられたクライアントを確認する必要があります。

<#root>

ap#

show dot11 associations

802.11 Client Stations on Dot11Radio0 SSID [Cisco] :

MAC Address	IP address	Device	Name	Parent	State
0811.967e.c384	192.168.50.4	ccx-client	ар	self	Assoc

関連情報

シスコのテクニカルサポートとダウンロード

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。